

骨髓バンク 2008年4月 会報38号

会報発行：骨髓バンクを支援するいばらきの会 <http://ibaraki.marrow.jp.net/>

発行責任者：牛島英二 編集：小田倉孝夫・福間究

<事務局> 〒305-0031 茨城県つくば市吾妻3-1-1-913福間宅

TEL : 029-856-7881 / FAX : 020-4668-5485 / E-mail : bmt-ibaraki-owner@egroups.co.jp

平成19年度茨城県骨髓バンクドナー登録会総括

多くの皆様のご協力を頂きながら登録会回数36回!

登録会での登録者数は546名に!

平成19年度の登録会が無事終了致しました。36回の登録会実施により登録者総数546名となりました。ご協力いただいた県薬務課、各保健所、血液センター、献血主催団体の関係された全ての方々に心より感謝し、厚く御礼申し上げます。

NO	月	日	曜日	会場名	担当保健所	地区普及 広報委員	登録推 進員	説明員および参加者	登録 者数	献血者 数	登録率%
1	4	15	日	土浦市陸上競技場 (霞ヶ浦マラソン)	土浦	小田倉	植村	伊井夫妻、福間、湯本、 和田、鈴木F、弓野	21	43	48.8%
2	5	13	日	つくば献血ルーム (つくばフェスティ バル)	つくば	福間	植村	伊井夫妻、川井、小田 倉、和田、鈴木、弓野、 長尾、栗島	26	80	32.5%
3		29	火	日本原子力発電所	ひたち なか	伊井	高橋	福間、伊井(陽)、川 井、井手、植村	12	53	22.6%
4		30	水	筑波大学	つくば	福間	植村	福間(明)、長尾	18	62	29.0%
5	6	14	木	トステム大和工場	筑西	細谷	植村	川井	3	27	11.1%
6		21	木	常総市民会館	常総	福間	植村	福間(明)、長尾	17	74	23.0%
7	7	10	火	三桜工業古河工場	古河	小田倉	植村		33	112	29.5%
8		26	木	大洗研究開発セン ター	水戸	山崎	高橋	山崎(晃)	11	76	14.5%
9		27	金	那珂市中央公民館	常陸大 宮	伊井	大越	伊井(陽)、林	12	52	23.1%
10		30	月	神栖市保健センター	潮来	牛島			7	41	17.1%
11	8	6	月	ショッピングモ ール・フィズ	古河	小田倉	植村		5	30	16.7%
12		21	火	カインズホーム北茨 城店	日立	牛島	大越	磯貝、井手	11	34	32.4%
13		21	火	マルヘイストア鉾田 店	鉾田	山崎	高橋	山崎(晃)	9	50	18.0%
14		26	日	つくば献血ルーム (まつりつくば)	つくば	福間	植村	川井、小田倉、和田、弓 野、境野、宮城	12	68	17.6%
15	9	5	水	日立製作所日立事業 所	日立	牛島	大越	磯貝、井手	13	67	19.4%
16		5	水	キヤノン化成筑波事 業所	つくば	福間	植村	福間(明)、長尾	12	58	20.7%
17		6	木	水戸経理専門学校	水戸	山崎	大越	山崎(晃)	4	114	3.5%
18		12	水	ベシシア玉造店	鉾田	山崎	高橋	山崎(晃)、川井、和田	13	54	24.1%
19		28	金	カインズホーム神栖 店	潮来	牛島	植村	山崎	10	61	16.4%

気負わず、あせらず、できることから、楽しく!

～平成19年度茨城県骨髓バンクドナー登録会総括～

NO	月	日	曜日	会場名	担当保健所	地区普及 広報委員	登録推 進員	説明員および参加者	登録 者数	献血者 数	登録率%
20	10	10	水	キヤノン阿見事業所	土浦	小田倉	植村	福間(明)、長尾	14	91	15.4%
21		11	木	サンテラス守谷ユ ニ-守谷店	竜ヶ崎	牛島	植村		7	48	14.6%
22		20	土	鉾田市総合運動公園	鉾田	山崎	高橋	伊井、林	25	62	40.3%
23		23	火	キヤノン化成岩間事 業所	水戸	山崎	高橋	川井、和田、弓野	15	87	17.2%
24		27	土	神栖市民体育館(神 栖市消費生活展)	潮来	牛島	高橋	伊井	16	43	37.2%
25		28	日	那珂湊港(みなと産 業祭)	ひたち なか	伊井	大越	山崎、川井	14	57	24.6%
26		28	日	みらい平(建設フェ スタ)	つくば	福間	植村	細谷、境野、宮城	8	51	15.7%
27		28	日	阿見町(さわやか フェスタ)	土浦	小田倉		湯本、和田、鈴木、長尾	4	64	6.3%
28	11	2	金	キヤノン取手事業所	竜ヶ崎	牛島	植村	貫井夫妻、稲葉、望月、 佐藤、長尾	29	142	20.4%
29		7	水	筑波大学	つくば	福間	植村	福間(明)、長尾	10	43	23.3%
30	12	10	月	潮来保健所	潮来	牛島			46		
31		12	水	潮来保健所	潮来	牛島			27		
32	1	22	火	鹿島労災病院	潮来	牛島			15	30	50.0%
33		23	水	航空自衛隊百里基地	水戸	山崎	高橋	山崎(晃)、牛島	40	105	38.1%
34		28	月	中野冷機	筑西	細谷	植村		8	49	16.3%
35	3	6	木	ジャスコ常陸大宮店	常陸大 宮	伊井	大越	伊井(陽)、林	15	54	27.8%
36		25	火	坂東市岩井児童福祉 センター	常総	福間	植村	福間(明)	4	20	20.0%

ドナー登録者 合計546名 (26.0%)
献血者数 合計2102名

地区普及広報委員 担当回数：山崎7回、小田倉5回 牛島10回、細谷2回、福間8回、伊井 4回

～平成19年度を振り返って～

会員の皆さん、いつも当会活動に積極的にご参加頂き、誠にありがとうございます。
平成19年度の全36回の登録会が無事終了いたしました。データ的には登録者数合計546名で、平成14年度のドナー登録会実施手順による献血併行型登録会体制のスタート以来過去最大の記録となる好成績を収めることができました。これも偏に県薬務課を始め、各保健所ご担当者の皆様、血液センターの大変積極的なご指導・ご協力の賜物であり、心から御礼申し上げますと共に、会員各位の多大なるご尽力にも感謝いたします。ご承知の通り、骨髓バンク事業は、国が掲げたドナー登録目標数30万人を今年初めに達成いたしました。当初目標とした患者さんの9割に適合するドナーが見つかることは達成されたものの、実際に移植ができたのは6割に満たないのが現状です。
今なお多くの患者さんが骨髓バンクに登録され、骨髓移植を待ち望みながら移植を受けられない患者さんがまだまだ多くいらっしゃるから、30万人の目標達成は一つの道しるべとして、これからも一人でも多くの県民の皆様にドナー登録していただけるよう努力して参る所存ですので、県ならびに血液センターにおかれましては、今後ともよろしくご指導・ご協力いただけますようお願い申し上げます。

気負わず、あせらず、できることから、楽しく！

平成20年度も県ならびに各保健所のご尽力で28回もの登録会が予定されており、年度始めの計画分は既に実施が始まっています。昨年度以上の登録実績確保には会員の皆様のご協力が不可欠です。「一人でも多く、一刻も早く患者さんの救命に寄与する」を胸に刻み、でも「気負わず、あせらず、できることから、楽しく」で一歩ずつ活動してまいりましょう。(牛島英二)

1月～3月 茨城県内イベント登録会等報告

1月22日 鹿島労災病院献血併行登録会

ドナー登録者数 15名(受付16名)
献血者数 30名(受付38名)
参加者 潮来保健所 安澤様、児玉様
財団地区普及広報委員 牛島

午後の2時間のみの受付でしたが、献血バス前には常時待ち行列ができるほどの盛況で、一般の方と病院職員の方々にご協力いただきました。ドナー登録者も15名となり、ドナー登録のみの一般の方が目立ちました。これは昨年12月の潮来保健所での単独型登録会の延長で、患者さんが通学する波崎高校がすぐ近くにあり、患者さんご家族によるPTAご父兄への登録呼びかけが功を奏したものと思われます。昨年12月の潮来保健所における登録分と合わせると延べ124名もの方々にご登録いただいたこととなります。この度の患者さんご家族のご尽力と、潮来保健所各位の大変積極的なご協力に心より感謝いたしますとともに、厚く御礼申し上げます。波崎高校生の患者さんは来月に骨髄バンクを通じた骨髄移植が予定されており、移植の成功と一日も早いご回復を心より祈念いたします。(牛島英二)

1月23日 航空自衛隊百里基地献血併行登録会

ドナー登録者数 40名(受付43名)
献血者数 105名(受付119名)
参加者 水戸保健所 湯浅様、木所様
登録推進員 高橋様
いばらきの会 山崎晃子さん
財団地区普及広報委員 山崎

航空自衛隊百里基地での登録会は一昨年に続き2回目の実施です。当日は終日雨が降り、雪に変わるのでという寒さの中、屋外テントで厳しい条件でしたが自衛隊隊員の方々のお気持ちのおかげで40名もの登録者がありました。前回の49名には及びませんでした。献血者の割には多かったと思いますし比較的20代の若い登録者が多く、これからの骨髄バンクドナーを支えていくでしょう。1回の登録会で40名もの登録者を見込める会場はなかなかありません。テントでの登録会は大変ですが百里基地は数年に一度は計画しても期待できる場所です。厳しい条件下の中、参加された皆様大変お疲れ様でした。(山崎揚久)

1月28日 中野冷機献血併行登録会

ドナー登録者数 8名(受付8名)
献血者数 49名(受付51名)
参加者 筑西保健所 波川様
登録推進員 植村様
地区普及広報委員 細谷

気負わず、あせらず、できることから、楽しく!

1月～3月 茨城県内イベント登録会等報告

献血者数が多くても50人程度と聞いておりましたので、登録者数はどうなることかと心配しておりました。しかし始めてみると午前中だけでも5人の方にご登録いただき、順調な滑り出しとなりました。結果8名の方のご登録にとどまりましたが、他に2～3名の方が質問に来られるなどボランティア意識の高い会場でした。献血された方のリストを作成し、会社から表彰か何かされていると中野冷機の担当の方がおっしゃっていました。ドナー登録者についても受付け者のリストのコピーが欲しいと言われましたが、個人情報ということでお断りしました。ただ、会社の取り組みとしては大変素晴らしいことだと思いました。このような考え方の会社がもっともっと増えて欲しいですね。ご協力感謝いたします。（細谷栄一）

3月6日 ジャスコ常陸大宮店献血併行登録会

ドナー登録者数 15名（受付17名）
献血者数 54名（受付71名）
参加者 常陸大宮保健所 山田様
登録推進員 大越様
いばらきの会 林、伊井陽子さん
地区普及広報委員 伊井(義)

献血会場は屋外（ジャスコ入り口）でしたが、午前中は風もなく快晴だったので、献血希望者も途切れなく訪れていました。バンク登録の方も午前中で9名と上々の滑り出しで、午後も期待を持ちました。ところが、午後は建物の陰となる場所だったため、お日様の恩恵が受けられなくなり、気温も見る見る下がっていき、また、風も強く吹き始め、テーブルの上の書類が飛んだりで大変でした。結果、献血希望者も午前には比べポツポツで、結果、バンク登録者も6名と伸び悩んでしまいました。それでも合計15名の方に登録をいただいたのは、献血受付で、「2度差し防止」の説明を入念に行って下さった血液センターさんのご担当の方の効果であったことは間違いないと思います。（ただ午前中、献血後の方からバンク登録の申し出があり、2度差しの説明を行い、断念された方が1名いたことは残念でした。もちろん、私の説明不足が原因だったと痛感しております。）

保健所で用意したチラシは、行き交う買い物客にすべて配り終え、また、一緒に「命のアサガオ」の種を配りましたので、この種が、後々、バンク登録の花を咲かせてくれることを期待したいと思います。（伊井義人）

3月25日 坂東市児童福祉センター献血併行登録会

ドナー登録者数 4名（受付6名）
献血者数 20名（受付26名）
参加者 常総保健所 鈴木様
登録推進員 植村様
いばらきの会 福間明子さん
地区普及広報委員 福間

献血会場は2箇所でしたが、ドナー登録会は午後のみでした。せっかくの好天でしたが、花粉症の影響でしょうか、献血受付の開始当初は、献血者もほとんどなく閑散としていました。後半は何とか盛り返し、4名の方に登録していただきました。（福間 究）

気負わず、あせらず、できることから、楽しく！

会員便り

～支えてくれた皆さん、ありがとう！無事、卒業しました～

おかげさまで3月25日に無事大学を卒業いたしました。

移植後一年半を経て復学した当初は本当に一人暮らしができるのだろうか？

学業についてゆけるだろうか？と不安だらけでした。

最初は通うのがやっとという状態だったのがだんだんと通うのは当たり前（上手にサボるというテクを身につけつつ）になり、体力も少しずつ回復してきて心細さはすっかり消えました。

そんな中いばらきの会の存在を知り、入会をさせていただき多くの皆様と活動を共にさせていただきました。改めて支えていただきました皆様に感謝申し上げます。

皆様が支えてきてくださったおかげで大学も卒業できたのだと思います。また、2月には皆様お忙しい中壮行会を開いていただいたことも大変ありがたく思い、母共々楽しい時間を過ごすことができました。

私はこの春、地元長野での就職も決まり社会人1年生として新たなスタートを切りました。

遅ればせながら、ようやく一社会人として勤め始めることになりましたが、今は不安と期待との入り混じった一種独特な高揚感でいっぱいです。

今、改めて自分の入院していた頃の事を思い出すと“普通に働く喜び”を噛みしめております。

長野から場所はちょっと遠くなりますが、心はいつも茨城のそばにあります。

あせらず、気負わず、できることから、のモットーで、今後も歩んでまいりたいと思います。

（湯本倫子）

～運命の赤い糸をつなぐ一通の手紙～

骨髄採取から、月日がたちました。

採取以降、兄弟さん（患者さんのことです）にお手紙を送ろうか？兄弟さんから届くのを待っていいようか？悩む日々が続きました。

手紙のやり取りができるのは、提供後1年以内に2回だけ。そんな制約がある中、その日まで残り1週間となり、送るのも届くのもほぼあきらめていました。

そんなある日の夜の事です。仕事から帰宅するとポストに郵便物不在票が・・・。

差出人は「骨髄移植推進財団」、「もしかして、もしかすると・・・？」わずかな期待を旨に、翌朝郵便局へ受け取りに行きました。

郵便物を行け取った直後、その場で開封し中身を確認・・・わずかな期待が大きな喜びに変わりました。兄弟さんご本人からのお手紙が届いたのです！！

以下、お手紙の内容です。

「このたびは私のために骨髄をご提供くださり、ほんとうにありがとうございます。

言葉も見つからないほどかんしゃしております。

本来ならすぐにでもお礼を申し上げるべきところでしたが、限られた回数の中でできるだけ良くなった状態をお知らせしたいと思い、このような時期になってしまいました。

申し訳ございません。最近、世の中は冷たくなったといわれていますが、どこの誰ともわからない私のために、見返りのない人助けをしていただいたことに対して、言葉で表しきれない感謝の気持ちでいっぱいです。もし自分が健康であったなら同じことができたのだろうかと考えると、本当に敬服いたします。

病気を知ったときは、この後どうになってしまうのか、とても不安でしたが、ドナー様のおかげで無事に退院することができ、春からは社会復帰もできる見込みです。

気負わず、あせらず、できることから、楽しく！

今では入院中は会うことができなかつた子供と遊ぶことが何よりの楽しみです。
このご恩を直接お返しする手段は今のところありませんが、ことわざに『情けは人のためならず』情けを人にかけておけば、巡り巡って自分により報いが来るといいます。
めぐりめぐってドナー様によりことが起こるよう、より多くの幸せがやってくるよう、これからまずは身近なところから社会に対してご恩返しをしていきたいと思ひます。
本当にありがとうございました。」

このお手紙を読んでいる最中、涙が止まりませんでした。「良かった。本当に良かった。」という言葉を探り返しつづやいていました。

お手紙を読むまでは、万が一悲しい内容だったらという事も頭をよぎりましたが、読んでいくにつれて自分の心にどんどん花が咲いていくような、安堵感が心の隅々まで広がっていきました。読み終えて、まずやらなくては！！と思つた行動。それは「返事を出す」事でした。

なんせ、ほぼあきらめていたところに突如舞い込んできた兄弟さんからのお手紙という「宝物」を手にしたわけですから、頭の中は真っ白、感激のあまり手は震え、なかなか書くことができません。手が震えるという事は、字も震えるという事で、名実ともに「ミミズのはつたような字」になってしまつて……。結局、手紙の文面に「あまりにも嬉しくて、頭の中が真っ白になり手も震えているため、まとまらない文と汚い字になりますが、ご容赦ください。」と正直に書いてしまいました。（苦笑）

なんとか書き終えた手紙に、体験記（個人情報部分は削除しました）を同封して、お手紙を受け取つた日の午後に速達で送りました。

数日後、財団から無事手紙を送りましたとの連絡を頂きここでまた安堵（ホッ）自分が書いた内容は、今回の件で周りの人の温かさを改めて気づかせてくれた事、こんな私と同じ血液を流してくれている事へのお礼、そして回復されて本当に良かったと思つている事などを書かせて頂きました。

兄弟さんは、直接恩返しができないとおっしゃっていますが、もう十分です。

頂いたお手紙で兄弟さんのお気持ちが心の奥底まで伝わってきました。これほどありがたいものはありません。このお手紙こそ、一番のプレゼントです。

今回、私は幸運にもお手紙を受け取り、返事まで出す事が出来ました。

しかし、患者さん側やドナー側に事情があつた手紙のやり取りが出来ない状況があると思ひます。私は以前、「自分がドナーになったら、すぐに手紙を送ろう」と考えていました。

でも、実際にドナーになったら、なかなか書けないのです。

こちらから出すと思着せがましくないかとか、返事を催促しているように思われぬかとか、色々考えてしまつて……。

そう考えているうちに『1年』と言う時間はすぐに経つてしまいます。できれば、この1年という枠がなくなるか、もっと長い期間になれば、より多くの方が気持ちの整理が出来て手紙のやり取りができるのではないかと思ひました。見ず知らずの者同士が、この手紙で「相手をより一層実感」出来ると思ひます。今後、関係者の皆様に検討していつて頂ければありがたいです。

最後に、もし願ひが叶うのなら、やはり直接お会いしたい。その気持ちはこの先制度が変わらなくても持ち続けると思ひます。偶然が偶然を呼んで何らかのきっかけで兄弟さんとお会いできる形でもかまいません。顔も声も名前も住まいも知らないけど、同じ血液を流している……

まさに「運命の赤い糸」です。その赤い糸が絆となつて、いつか会える日が来ることを祈つています。（S・N）

個人情報保護及び個人特定につながる部分は骨髄移植推進財団規定により伏せさせて頂きました。またS・Nさんのご了解の下、元患者様のお手紙を掲載させて頂きました。

（編集担当）

気負わず、あせらず、できることから、楽しく！

4月～6月の主な登録会の予定及び速報値

4月 5日	日立さくらまつり	登録者数18名
4月14日	日立化成工業下館事業所	登録者数 9名
5月11日	つくばフェスティバル (つくば献血ルーム)	(担当地区普及広報委員 福 間)
5月23日	日立ハイテクコントロール システムズ	(担当地区普及広報委員 山 崎)
5月28日	筑波大学	(担当地区普及広報委員 福 間)
5月30日	ウイズ鉾田店	(担当地区普及広報委員 山 崎)
6月 4日	配電盤茨城団地協同組合	(担当地区普及広報委員 小田倉)
6月11日	ベイシア玉造店	(担当地区普及広報委員 山 崎)
6月25日	日立建機	(担当地区普及広報委員 小田倉)

登録会の予定は変更になる事もありますので、登録会参加ご希望の方は、事前に、事務局若しくは各担当地区普及広報委員にお問い合わせ下さい。

皆様の御協力を宜しくお願い申し上げます。

会長の独り言



最近とても涙もろくなってきており、ちょっとしたことでもすぐに涙ぐんでしまうことがしばしばある。自宅で一人でテレビ(番組は「こども病棟24時」といったジャンルのやつ)を見ているときなどは周囲を気にすることなく涙を流すが、会社でパソコンに向かって仕事(と言っても仕事に関連してではなく、ボランティア関連のことがほとんどだが)に涙が出てきたときなどは大いに困惑する。周囲に気付かれないように、メガネを取ってそれを拭くふりをしながらハンカチでさりげなく涙を拭くのである。こうした回数が増えてくるとこの演技も随分と板についてきた。

本業の関連雑誌に「私のストレス解消法」と題したある医師のエッセイが掲載されたいが、これを読んで大いに共感したものだ。

「テレビを見ていて誰もいなければ、流れるままに涙を流す。どうやらこれが私の一番のストレス解消だ。笑うことがストレスに良いということはかなり有名になったが、泣くことがストレスに良いということも最近言われ始めている。私は、体感的にこれは真実だと思う。」涙もろくなることは年のせいと初めは考えていたが、この頃は「感動したり、悲しみを共有できる能力が年齢を重ねる毎に積み上げられ、より磨き上げられてくるため」と考えるようになった。これは人間のみに与えられたすばらしい能力で、誇りに思っただと自画自賛しつつ、これからも涙ぼろぼろ人生を歩んでいきたい。

(牛島英二)

気負わず、あせらず、できることから、楽しく！

骨髄バンクのボランティアを応援してください

骨髄バンクを支援するいばらきの会では、茨城県内で骨髄バンクの普及啓発をボランティアで行っています。活動資金は皆さまの善意の寄付によってまかなわれています。ボランティア活動への応援をお待ちしております。なお、ご面倒でもご寄付と会費の納入は郵便振替でお願いします。

郵便振替口座名義：00110-3-127575

加入者名義：骨髄バンクを支援するいばらきの会

事務局からのお知らせ

心のもったご寄付をありがとうございました。(2008.1.1~4.30)

・サンアメニティー茨城支社石岡事業所様 1,026円

・色川久美子様 2,400円

・長尾洋子様 10,000円

ドナー登録は18歳から54歳までの健康な方ならどなたでも登録ができます。1人でも多くの皆様の御協力をお願いいたします。また、骨髄移植推進財団ホームページからも事前のお申し込みが可能となりました。ドナー登録についての詳しい説明もございますので是非ご覧ください。<http://www.jmdp.or.jp/index.html>

編集後記

今年度も会報をお読み頂きありがとうございました。また、編集にご協力頂きました会員の皆様ありがとうございます。

(編集担当 小田倉孝夫)

日本骨髄バンク骨髄提供希望者(ドナー)登録者数:306,397人(県内6,165人)

骨髄移植希望者(患者数):2,412人(海外1,063 県内36人)

バンクを通じての移植例数:9,237例(海外172 県内移植数168例、県内採取数182例)

(2008年03月末現在)

(財)骨髄移植推進財団 ホームページ <http://www.jmdp.or.jp>

ドナー登録についてのご質問・お問い合わせは

気負わず、あせらず、できることから、楽しく！